

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(集排)大平地区一般業務			
予算科目	1 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	下水道課	電話番号(内線):	576
記入者情報	所属長:	向井 英文	担当責任者:	岡本 千明
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	大平地区農業集落排水地域			
根拠法令等	水質汚濁防止法 伊予市条例			
事業の目的	農業集落排水事業を実施するにあたり一般管理事務を行い、事業の円滑な遂行を目的とする。			
事業の内容	施設の維持管理のための、料金収受、汚水管渠への接続申請、検査			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	水道課の給水停止と連携した納付の履行に取組み、経費の管理に努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	1,605	2,550	1,170	1,877
	人件費	1,988	2,010	965	2,010
	合計	0	4,560	2,135	3,887
人件費 内訳	人工数	0.25	0.25	0.12	0.25
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,988	2,010	965	2,010
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	3,593	4,560	2,135	3,887
	一般財源	0	0	0	0

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
一般事業費	千円	1605	2550	1170	1877

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	2,304	2,300	2,300	2,300	2,300	11,504

成果指標				
成果指標	業務費と料金収入の割合を比較することで捉える。業務費÷収入額×100(%)を表示			
指標設定の考え方	業務事務費と収入額の比較を対比することで、コスト率を数値化する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	11	10.5	10.25	0
実績	8.13	9.37	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	未接続者への接続促進を図る(特に唐川地区)とともに、新規接続者等への口座振替の利用促進や水道課の給水停止と連携した納付の履行に取組み、使用料の増収と徴収率の向上に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	2	
課題認識	管渠への接続が進まない状況であり、計画的に接続促進に取り組み、使用料収入の増加を図るとともに、使用料の見直しの検討も必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	特に、唐川地区の未接続者への接続促進について、地域に出向き説明会等を開催するなど積極的に取り組む。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。